

平成25年度 収支計算総括表

学校法人 学 習 院

平成26年5月

(単位 千円)

消費収支決算

科 目	(P) 最終予算	(I) 決 算	(D)=(P)-(I) 差 異	(I) 前 年 度 額	(A) 増 減 H25-H24 (I)-(I)
(1) 消費収入の部					
学 生 生 徒 等 納 付 金	14,750,720	14,733,393	17,327	14,907,514	174,121
手 数 料	671,790	711,523	39,733	685,385	26,138
寄 付 金	652,460	569,210	83,250	649,097	79,887
補 助 金	2,384,010	2,599,864	215,854	2,358,386	241,478
資 産 運 用 収 入	368,370	516,119	147,749	414,535	101,584
資 産 売 却 差 額	35,000	230,657	195,657	20,355	210,302
事 業 収 入	252,200	306,015	53,815	323,379	17,364
雑 収 入	515,510	606,022	90,512	558,007	48,015
帰 属 収 入 合 計	19,630,060	20,272,803	642,743	19,916,658	356,145
基 本 金 組 入 額 合 計	2,356,390	1,906,856	449,534	3,814,951	1,908,095
消 費 収 入 の 部 合 計	17,273,670	18,365,947	1,092,277	16,101,707	2,264,240

(2) 消費支出の部					
人 件 費	10,884,450	10,824,687	59,763	10,778,084	46,603
教 育 研 究 経 費	6,837,990	6,607,879	230,111	6,637,838	29,959
管 理 経 費	1,275,280	1,196,666	78,614	1,313,692	117,026
借 入 金 等 利 息	20,540	20,351	189	25,649	5,298
資 産 処 分 差 額	0	110,414	110,414	60,735	49,679
徴 収 不 能 引 当 金 繰 入 額	0	1,400	1,400	5,300	3,900
徴 収 不 能 額	0	603	603	0	603
予 備 費	271,400		271,400		0
消 費 支 出 の 部 合 計	19,289,660	18,762,000	527,660	18,821,298	59,298

当 年 度 消 費 収 支 超 過 額	2,015,990	396,053	1,619,937	2,719,591	2,323,538
前 年 度 繰 越 消 費 収 支 超 過 額	15,624,256	15,624,256	0	12,904,665	2,719,591
翌 年 度 繰 越 消 費 収 支 超 過 額	17,640,246	16,020,309	1,619,937	15,624,256	396,053
当 年 度 帰 属 収 支 差 額	340,400	1,510,803	1,170,403	1,095,360	415,443

参 考

翌 年 度 繰 越 消 費 収 支 超 過 額	17,640,246	16,020,309	1,619,937	15,624,256	396,053
基 本 金 未 組 入 額	1,794,750	1,371,425	423,325	1,879,321	507,896
要 処 理 資 産	19,434,996	17,391,734	2,043,262	17,503,577	111,843

主 要 分 析 比 率 (%)					
学 生 生 徒 等 納 付 金 / 帰 属 収 入	75.14	72.68	-	74.85	2.17
補 助 金 / 帰 属 収 入	12.14	12.82	-	11.84	0.98
人 件 費 / 消 費 支 出	56.43	57.69	-	57.27	0.42
教 育 研 究 経 費 / 消 費 支 出	35.45	35.22	-	35.27	0.05
管 理 経 費 / 消 費 支 出	6.61	6.38	-	6.98	0.60
人 件 費 / 学 生 生 徒 等 納 付 金	73.79	73.47	-	72.30	1.17
帰 属 収 支 差 額 / 帰 属 収 入	1.73	7.45	-	5.50	1.95

資金収支決算

(単位 千円)

科 目	(ア) 最終予算	(イ) 決 算	(ウ)=(ア)-(イ) 差 異	(エ) 前 年 度 額	(オ) 増 減 H25-H24 (イ)-(エ)
(1) 収 入 の 部					
学 生 生 徒 等 納 付 金 収 入	14,750,720	14,733,393	17,327	14,907,514	174,121
手 数 料 収 入	671,790	711,523	39,733	685,385	26,138
寄 付 金 収 入	541,900	482,964	58,936	523,865	40,901
補 助 金 収 入	2,384,010	2,599,864	215,854	2,358,386	241,478
資 産 運 用 収 入	368,370	516,119	147,749	414,535	101,584
資 産 売 却 収 入	3,240,000	4,437,980	1,197,980	1,700,510	2,737,470
事 業 収 入	252,200	306,015	53,815	323,379	17,364
雑 収 入	515,510	606,022	90,512	558,007	48,015
借 入 金 等 収 入	0	200	200	0	200
前 受 金 収 入	2,605,650	2,778,979	173,329	2,832,531	53,552
そ の 他 の 収 入	1,293,530	1,401,455	107,925	1,149,637	251,818
資 金 収 入 調 整 勘 定	2,832,530	3,658,403	825,873	3,549,626	108,777
前 年 度 繰 越 支 払 資 金	11,479,210	11,479,216	6	12,645,349	1,166,133
収 入 の 部 合 計	35,270,360	36,395,327	1,124,967	34,549,472	1,845,855

(2) 支 出 の 部					
人 件 費 支 出	11,182,330	10,968,137	214,193	10,890,240	77,897
教 育 研 究 経 費 支 出	4,325,770	4,094,540	231,230	4,129,934	35,394
管 理 経 費 支 出	1,190,900	1,115,371	75,529	1,233,269	117,898
借 入 金 等 利 息 支 出	20,540	20,351	189	25,649	5,298
借 入 金 等 返 済 支 出	383,930	383,930	0	383,730	200
施 設 関 係 支 出	1,427,220	1,264,231	162,989	2,134,426	870,195
設 備 関 係 支 出	621,990	535,185	86,805	1,171,781	636,596
資 産 運 用 支 出	7,759,000	3,579,428	4,179,572	3,382,436	196,992
そ の 他 の 支 出	910,610	1,138,453	227,843	967,253	171,200
予 備 費	406,990		406,990		
資 金 支 出 調 整 勘 定	66,160	332,470	266,310	1,248,462	915,992
次 年 度 繰 越 支 払 資 金	7,107,240	13,628,171	6,520,931	11,479,216	2,148,955
支 出 の 部 合 計	35,270,360	36,395,327	1,124,967	34,549,472	1,845,855

平成25年度 決算の概要について

財務部

1. はじめに

平成25年度に行われた本院の主要事業のうち、決算に大きく関連する要件は下記のとおりです。

- (1) 大学南3号館の耐震補強等改修工事
- (2) 目白地区(南2号館) 常用発電機新設工事
- (3) 大学文学部教育学科の開設
- (4) 大学、女子大学における在籍料の新設・入学金の引き下げ

(1)および(2)は施設・設備系の支出が中心となっており、消費収支計算書における基本金組入額増加の主たる要因として決算にあらわれる一方、いずれも工事費の一部について国からの補助金の交付を受けています。

また、(3)は収入・支出双方の増加要因となりますが、25年度は開設初年度であるため、支出超過の状態となります。

(4)については納付金収入に関し増減両面の影響があります。(詳細は後述します。)

2. 消費収支による項目別の解説

以下、消費収支をベースに、主要項目について解説します。なお、具体的な金額に関しては別添「3.各種データ」をあわせて参照ください。

収入

学生生徒等納付金

学生生徒等からの納付金収入を示すものですが、25年度は大学文学部教育学科の開設により定員1学年分の収入が加わったこと、および大学、女子大学において納付金制度改正を行ったことが大きな変動要因となっています。決算額では対予算比、対前年度比ともマイナスとなっています。うち対前年度では、前述の納付金制度改正によって新たに設定された在籍料がプラスの要素となりましたが、入学金の引き下げによる収入減がこれを上回る額となっているため、結果減収の要因となっています。

手数料

おもに大学等の受験料(入学検定料)がこれに該当します。全学トータルの志願者数が増加したため、対予算、対前年度とも増収となりました。

寄付金

消費収入においては現物寄付を含んだ金額となっており(資金収支では金銭のみ計上)、対予算、対前年度とも減収となりました。24年度より「学習院未来計画28」推進募金のための活動を展開しておりますが、企業の業績や個人所得の伸び悩み等による募金環境の厳しさが続いています。

消費収入の部合計

帰属収入合計から基本金組入額を控除した金額(【表1】では を付してある)が消費収入の部合計となります。このように学校会計においては収入総額から資産的支出(将来の取得のための計上分を含む)等を除いた額が当該年度の収入計となり、経常経費はこの範囲内で賄うべきであることが基本的な考え方となっています。

25年度は前年度と比較して大型の設備投資が少なく、また第2号基本金組入れを行わなかったため基本金組入額合計が大幅に減少したこと、および帰属収入が増加したことにより、増収となりました。

支出

人件費

対予算ではマイナス、対前年度では支出増となっています。対前年度のおもな増要因としては大学文学部教育学科の開設にともなう専任教員の人数増が挙げられます。

教育研究経費

対予算、対前年度ともマイナスとなりました。減要因としては修繕費の減および東日本大震災関連の学費減免制度の縮小による奨学費の減等が挙げられます。

管理経費

対予算、対前年度とも支出減となりました。対予算では修繕費、対前年度では業務委託費がおもな減項目となっています。

消費支出の部合計

以上の結果、消費支出は対予算、対前年度ともマイナスとなりました。対予算では で述べた教育研究経費中の各科目の減が主因となっており、対前年度では 管理経費の減が大きな要因を占めています。

収支差額

当年度消費収支超過額

25年度の収支は396百万円の消費支出超過となりました。対予算、対前年度との比較でいずれも支出超過額は減少しています。

翌年度繰越消費収支超過額

前年度繰越消費支出超過額(15,624百万円)と前項の当年度消費支出超過額との合算により、累積の消費支出超過額は16,020百万円に増加しています。【表7】に示したとおり、20年度以降単年度、累積ともに消費支出超過状況が続いております。

なお、参考データとして消費収支結果を基にした主要分析比率を【表2】に示しています。

帰属収支差額

帰属収入合計から消費支出の部合計を差し引いたものが帰属収支差額です。この金額の大きさによって財務の余裕度を計ることができ、例えば金額が大きいほど基本金組入れによる設備投資のための資金を多く計上することが可能となります。

25年度については、対予算、対前年度とも増加していますが、帰属収支差額比率 に換算すると7.45%となり、今後この数値を高めていくことが大きな課題となっています。

帰属収入に占める帰属収支差額の割合 $(\text{帰属収入} - \text{消費支出}) \div \text{帰属収入} \times 100$

3. 各種データ

(1) 当該年度決算額と比較データ

【表1】 予算額および前年度決算額との比較(消費収支)

(百万円)

消費収入の部					
科目	25年度決算	25年度予算	対予算差額 (25決算 - 25予算)	24年度決算	対前年度差額 (25決算 - 24決算)
学生生徒等納付金	14,733	14,751	18	14,908	175
手数料	712	672	40	686	26
寄付金	569	652	83	649	80
補助金	2,600	2,384	216	2,358	242
その他(注)	1,659	1,171	488	1,316	343
帰属収入合計	20,273	19,630	643	19,917	356
基本金組入額合計	1,907	2,356	449	3,815	1,908
消費収入の部合計	18,366	17,274	1,092	16,102	2,264

(注) 資産運用収入、資産売却差額、事業収入 等

消費支出の部					
科目	25年度決算	25年度予算	対予算差額 (25決算 - 25予算)	24年度決算	対前年度差額 (25決算 - 24決算)
人件費	10,825	10,885	60	10,778	47
教育研究経費	6,608	6,838	230	6,638	30
管理経費	1,197	1,275	78	1,313	116
その他	132	292	160	92	40
消費支出の部合計	18,762	19,290	528	18,821	59
当年度消費収支超過額	396	2,016	1,619	2,719	2,323
翌年度繰越消費収支超過額	16,020	17,640	1,620	15,624	396
帰属収支差額	1,511	340	1,171	1,096	415

【表2】 主要分析比率

(%)

科目	25年度 決算	24年度 決算	23年度 決算	科目	25年度 決算	24年度 決算	23年度 決算
学生生徒等納付金 / 帰属収入	72.7	74.8	75.3	人件費 / 消費支出	57.7	57.3	64.1
補助金 / 帰属収入	12.8	11.8	11.2	教育研究経費 / 消費支出	35.2	35.3	30.0
人件費 / 学生生徒等納付金	73.4	72.3	89.8	管理経費 / 消費支出	6.4	7.0	5.6
帰属収支差額 / 帰属収入	7.5	5.5	5.6				

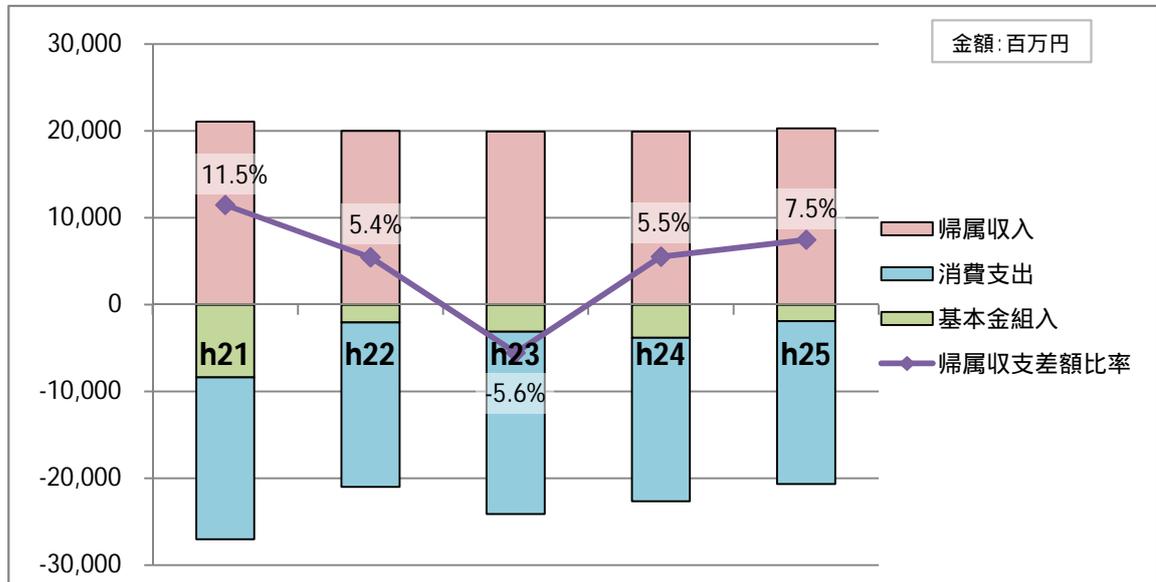
平成23年度の臨時的計上(退職給与引当金特別繰入額)を除外した主要分析比率(%)

	23年度決算		23年度決算
人件費 / 学生生徒等納付金	70.2	人件費 / 消費支出	58.2
帰属収支差額 / 帰属収入	9.2	教育研究経費 / 消費支出	34.8
		管理経費 / 消費支出	6.5

(2) グラフでみる決算の概要

以下【表3】～【表7】において各種決算データの経年変化を示しています。

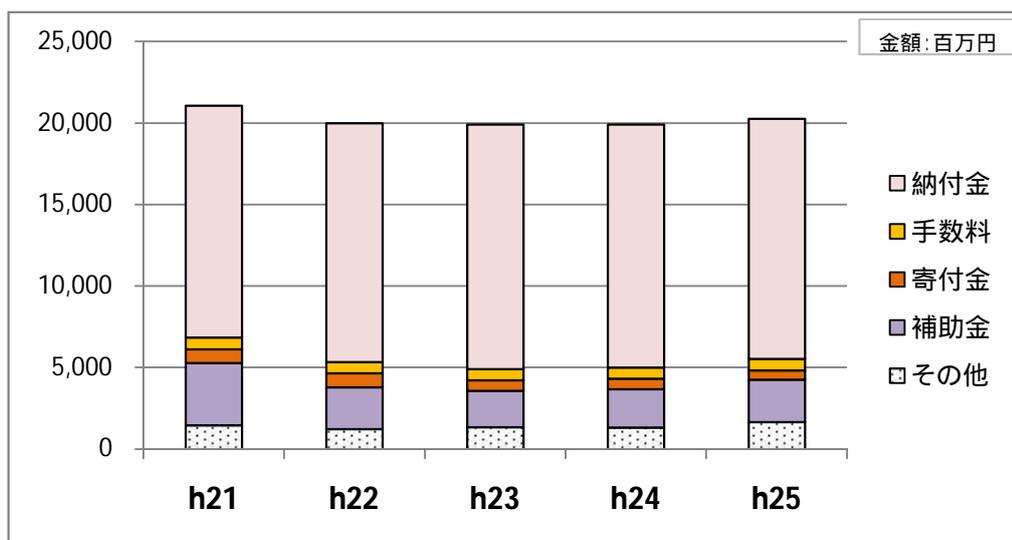
【表3】 消費収支の推移



過去5年間の推移をみると、h21年度の基本金組入額が大きくなっていますが、これは同年度大学南7号館、中央教育研究棟および女子中・高等科本館の竣工に伴う多額の第1号基本金組入れが行われたことによります。また、同年度の帰属収入の伸びについても、南7号館等の施設・設備系の支出に対する大型の補助金交付を受けたことが主因となっています。

また、h23年度は退職給与引当金特別繰入額の臨時的計上があったため、帰属収支差額比率がマイナスとなっていますが、この臨時的計上分を除くと同比率は9.2%となります。

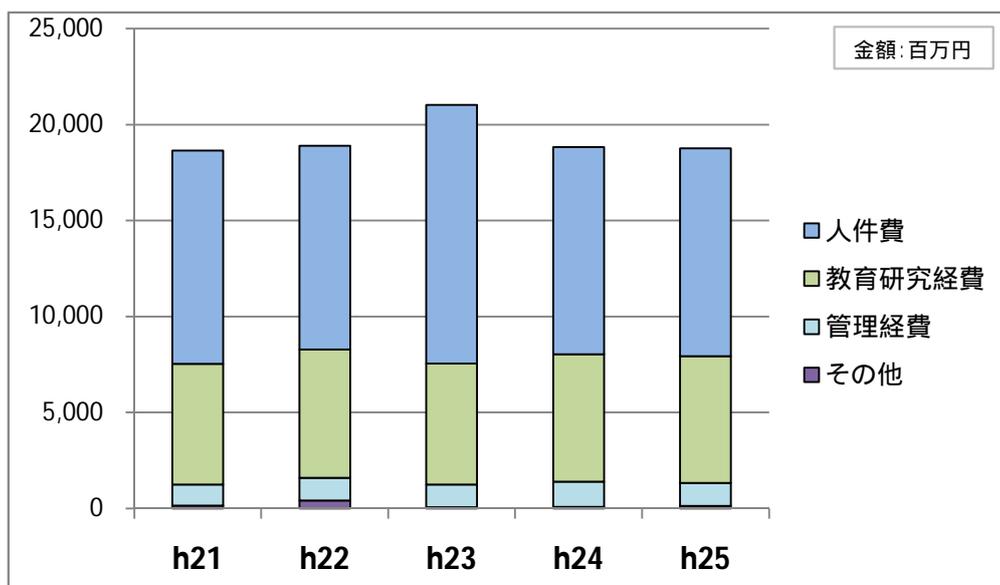
【表4】 帰属収入(科目別)の推移



各科目とも近年ほぼ横ばいの状態が続いていますが、h21年度についてのみ前述のとおり施設・設備系の多額の補助金交付を受けたことにより、補助金収入が帰属収入全体を押し上げる結果となっています。

【表5】

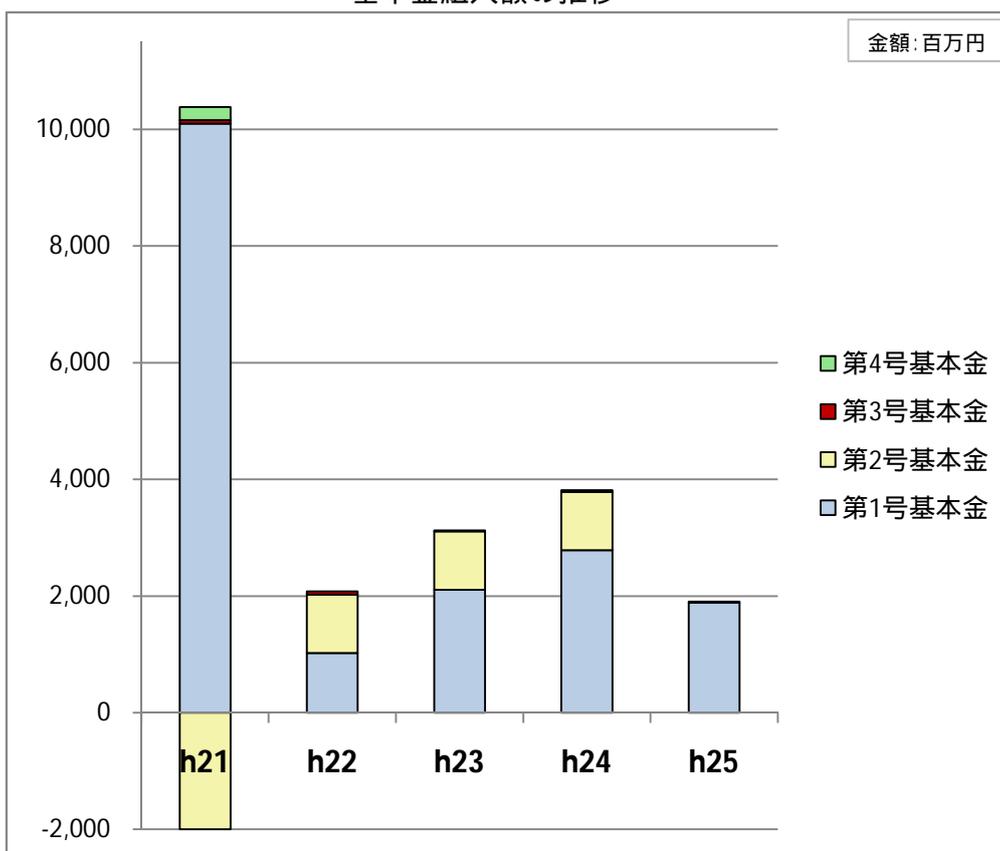
消費支出(科目別)の推移



消費支出全体ではh23年度を除きほぼ横ばいであり、h23年度についてのみ人件費の伸びが顕著ですが、これは同年度文科省の通達による会計ルールの変更に対応するため、退職給与引当金特別繰入額約29億円を計上したことによります。

【表6】

基本金組入額の推移



グラフが示すとおり、第1号および2号基本金の組入れ状況によって全体の組入れ規模がほぼ決定されます。h21年度は前述のとおり、大型建物3棟の竣工が集中したため、第1号基本金が例外的に大きな組入額となっています(同時に支払いのための2号基本金20億円の取り崩しも行われた)。なお、h25年度については第2号基本金組入れが行われなかったため、全体の組入額が近年では小規模となっています。

【表7】 単年度の消費収支結果と繰越消費収支の推移

